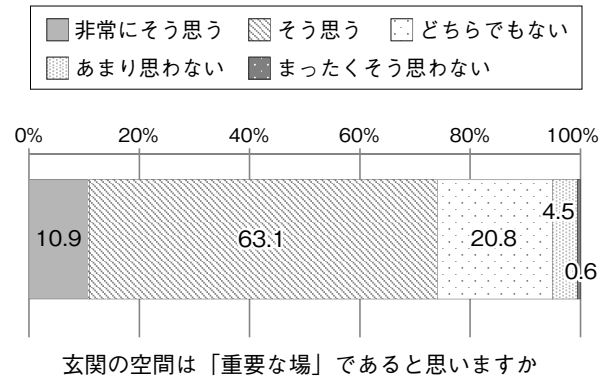


玄関空間に関する意識調査について

三協立山株式会社 三協アルミ社

玄関空間と暮らしの関係について、住まい手の意識を探るため、三協アルミでは、関東圏に住む30歳代～50歳代で子どもを持つ既婚女性312人を対象に、玄関空間に関する意識調査を行いました。

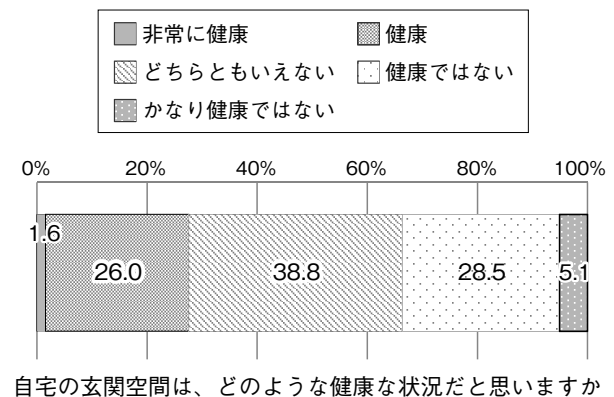
調査結果の大きな特徴として、「自分や家族にとって、玄関の空間は『重要な場』であるか」の問に対し、「そう思う」（「非常にそう思う」、「そう思う」）と回答された方が74.0%にも達している点です。



玄関の空間は「重要な場」であると思いますか

しかしながら、自宅の玄関空間に不満がない（健康である）と考える方は約3割にとどまったことから、玄関空間は「重要である」と認識しながらも、現状の

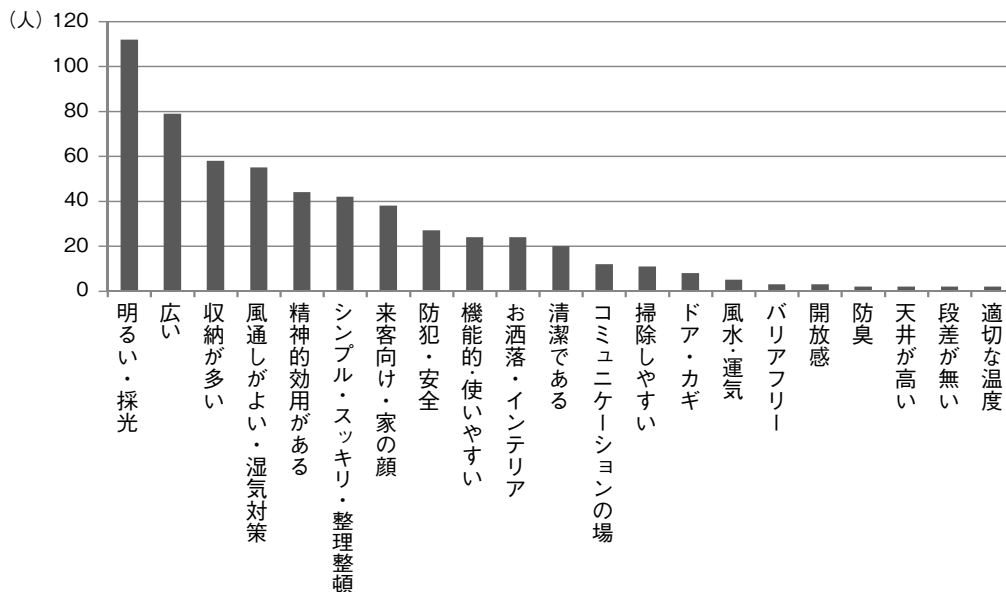
自宅の玄関空間には満足しきれていない、理想と現実のギャップが浮き彫りとなる結果となりました。



自宅の玄関空間は、どのような健康な状況だと思いますか

理想の玄関空間について尋ねたところ、1位「明るさ」（35.9%）、2位「広さ」（25.3%）、3位「収納力」（18.9%）、4位「風通しがよい」（17.6%）といった“ハードとしての機能”が上位にあがっています。

一方で「帰ってきてホッとする空間」や「家族を元気に送り、温かく迎える」などの「精神的効果がある」（14.1%）と言った“ソフトとしての機能”が続いていることから、ソフト面も重視されていることがわかります。

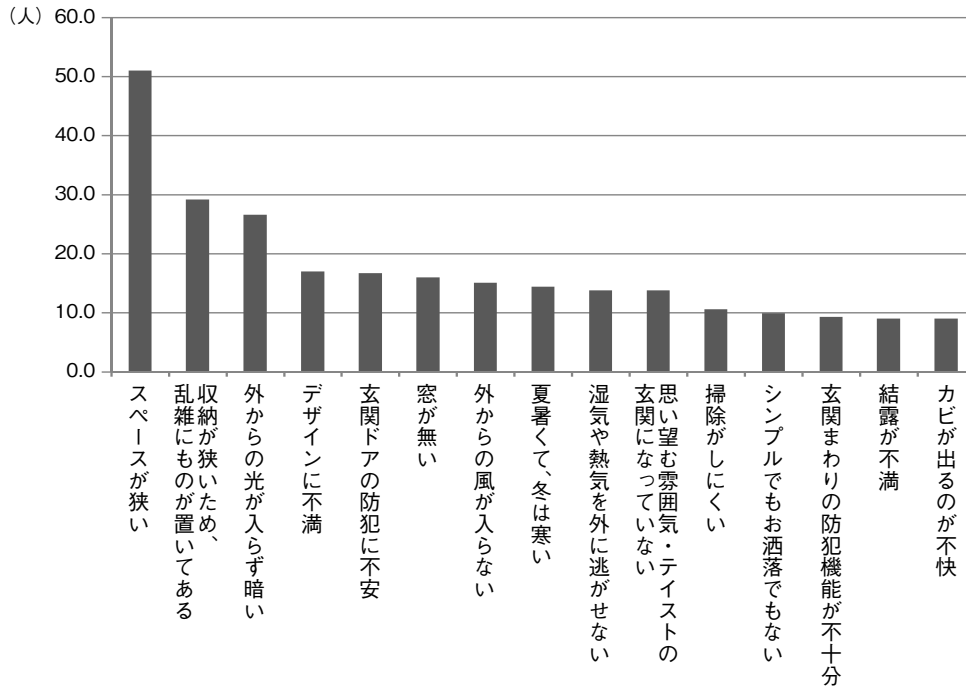


理想と考える玄関の空間はどのような空間ですか

次に自宅の玄関空間の不満や直したい箇所を尋ねたところ、「スペースが狭い」(51.0%)、「収納が狭いため、乱雑にものが置いてある」(29.2%)、「外からの光が入らず暗い」(26.6%)で、スペースや収納の“狭さ”と“暗さ”に不満を感じているようです。

また、「窓がない」(16.0%)、「外からの風が入らない」(15.1%)、「湿気や熱気を外に逃がせない」(13.8%)、「結露が不満」(9.0%)、「カビが出るのが不快」(9.0%)

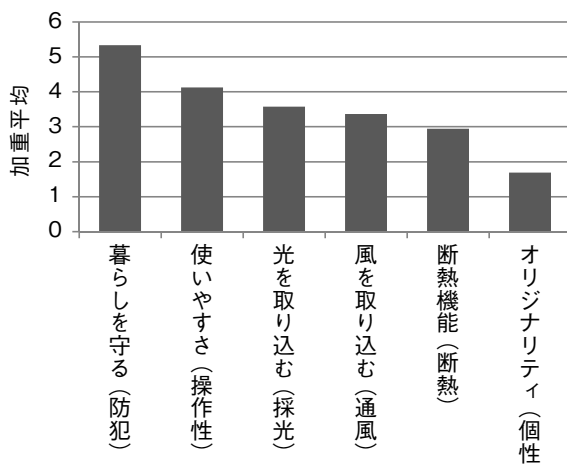
と言った“風通しが悪い”ことが原因となる不満も合計で62.9%と高い傾向を示しています。これらの不満は玄関空間に窓をつけて、“風通しをよくする”ことで改善される項目と言えます。さらに窓をつけることで、「外からの光が入らず暗い」も改善することができるため、“窓をつける”ことは、玄関空間の不満解決に向けた有効な対策の1つになると想定できます。



自宅の玄関の空間の不満や直したい箇所はどこですか。(複数回答)

また、自宅の玄関ドアで重視するポイントを尋ねたところ、「防犯」、「操作性」、「採光」、「通風」の順でした。暮らす上で基本的な機能が上位である事がわかります。

ですが理想の玄関空間とするために「採光(明るさ)」や「通風(風通し)」と言った暮らしを一層豊かなものにする機能を玄関ドアの機能として加えることの大切さがうかがえます。



自宅の玄関ドアで重視するポイントはどこですか

これまでの調査結果から、理想の玄関空間を作るには、設計段階での間取りの工夫に加え、玄関ドアにも窓の機能を持たせることの可能性を確認できたと考えております。

三協アルミでは使い手にやさしい「USER Friendly (ユーザーフレンドリー)」をコンセプトに「通風」「採光」にこだわった玄関ドア「FANOVA (ファノーバ)」を昨年5月に発売いたしました。

業界初の採風機能付デザイン「内開き窓(横型)タイプ」をはじめ、防犯性と使いやすさを両立したタッチ錠「e-エントリー」をラインナップしており、安全性と快適性能を充実した理想の玄関空間にお役立ちいただける玄関ドアです。

今後も住まい手の方にとって、理想の玄関空間で暮らしが楽しめるような商品を開発してまいりますのでご期待ください。